

様式第1号(第3条関係)

下野市入札適正化委員会議事概要  
(令和2年度 第2回)

開催日及び場所	令和2年11月5日(木) 午後1時30分から 下野市役所 302会議室		
委員	委員長：阪田 和哉 (宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授) 委員：鈴木 洋平 (弁護士) 高橋 紀夫 (白鷗大学法学部 教授) 鎌形 俊之 (公認会計士) (委員4名中 出席委員4名)		
審議対象期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和2年 9月30日		
抽出案件	5件	対象期間内総件数	63件
一般競争入札	3件	一般競争入札	49件
指名競争入札	1件	指名競争入札	13件
随意契約	1件	随意契約	1件
<p>○議事等の概要</p> <p>(1) 入札及び契約状況について</p> <p>事務局から、今回の審議対象期間中に発注した工事及び指名停止の運用状況について報告しました。</p> <p>また指名停止状況及び談合情報対応状況については、該当なしの旨報告しました。</p> <p>(2) 抽出事案の審議</p> <p>鈴木委員から、抽出事案を選定した際の理由について報告がありました。</p> <p>1 「下野市立南河内小中学校建設工事」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事箇所：下野市薬師寺地内</li> <li>・教育総務課発注（一般競争入札 事後審査型・総合評価落札方式）</li> <li>・総合評価落札方式であり、契約金額が最高額なため。</li> </ul> <p>2 「特環下水道管渠工事（補2－3工区）」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事箇所：下野市小金井地内</li> <li>・下水道課発注（一般競争入札）</li> <li>・一般競争入札のうち落札率が低く、かつ、失格が4者と多いため。</li> </ul>			

3 「国分寺B & G海洋センタープール改修工事」について

- ・ 工事箇所：下野市小金井地内
- ・ スポーツ振興課発注（一般競争入札）
- ・ 一般競争入札のうち、落札率が最も高いため。

4 「市道2-23号線歩道舗装繕工事」について

- ・ 工事箇所：下野市祇園三丁目地内
- ・ 建設課発注（指名競争入札）
- ・ 指名競争入札のうち、落札率が最も高いため。

5 「JR自治医大駅東口エスカレーター改造工事」について

- ・ 工事箇所：下野市医大前二丁目地内
- ・ 建設課発注（随意契約）
- ・ 令和2年度上半期で唯一の随意契約のため。

□ 審議結果について

いずれの審議案件とも、明らかに適正を欠いているものはなく、令和2年度上半期について適正に執行されていると認められました。

□ 主な質疑について

**【抽出案件1】**

- 委：総合評価落札方式のため、価格では安かったけど、点数で負けて落札業者になれなかった。この点数に価格差ほどの価値があるという事ですか。
- 事：価値という判断は難しいと思います。この方式では、総合評価点の高かった業者が落札業者になるという事です。
- 委：規則どおりという点では問題は無いのですが、工事の規模などを考えると、別の算出方法が用意されていても良いと思います。
- 事：工事規模の大きさは、一括発注した事によるものもあったと思います。契約検査課では分離・分割発注を指導していますが、学校側の負担軽減などもあり、一括発注になった経緯があります。
- 委：工事規模の大小にかかわらず、同じ項目で評価するのは、工事によって1点当たりの額に開きが出てしまう。
- 委：良い工事をする業者が評価され、落札業者になるのは、総合評価落札方式ならではの事なので、業者を育てるという意味でも良いと思います。ただ1点当たりの金額が大きい。
- 委：評価項目や点数などを、少し検討して頂きたいと思います。

●事：価格点と価格以外の評価点の配分については、少し研究する必要があると議会で説明いたしました。

#### 【抽出案件2】

○委：特環と公共で、管渠工事に違いはありますか。

●事：工事内容は基本的に同じです。

○委：同じ日の入札で、公共より特環の方に失格者が出ているのは、特環の方が魅力のある工事という事ですか。

●事：市街化調整区域という事もあり、振動や騒音など神経質にならずにすむので、やり易い現場であると思います。

○委：金額の規模が小さくても、やり易い工事を取りたかったという事ですね。

●事：そう推測されます。

○委：端数処理などの誤差でしょうが、最低制限価格を下回るのは勿体無いですね。

#### 【抽出案件3】

○委：業者の入札額が高くなった原因はわかりますか。

●事：設計金額と入札内訳で差が大きかったものは、塗装にかかるところです。

○委：コロナ禍の影響で、塗料などの入手が難しいなどの状況があるのでしょうか。

●事：塗料よりも実際の施工のしづらさが影響したものと思われます。プール上にある鉄骨の梁を一本毎に塗装するため、高い施工費になったものと推測されます。

○委：設計段階で、施工の難しさなどは考慮出来ないのですか。

●事：塗装の面積や足場など、標準的なもので積算しています。

○委：建築で登録のある業者数は何者ですか。

●事：8者です。そのうち3者がAランクです。

○委：数が少ないのは将来的に心配です。担い手を育てることも考えなくてはけませんね。

●事：はい。

#### 【抽出案件4】

○委：参加業者数が少ないと、落札率が高くなることはありますか。

●事：そのような傾向は無かったと思います。今回の案件は設計金額が高くないため、落札率が高かったものと推測されます。

○委：同じ様な舗装工事の案件でも高めの落札率になっている。そもそも額を下げづらいのでしょうか。

○委：指名業者数が4者なのは何故ですか。

●事：発注基準で、設計金額が500万円未満の舗装工事の場合、Cランクから4者となっています。

### 【抽出案件5】

○委：このエスカレーターの設置はいつですか。

●事：平成9年の設置です。

○委：エスカレーターの耐用年数は何年ですか。

●事：一般的には15年程度とされています。毎年メンテナンスを受けて運用しています。

○委：全面改修や、エレベーター設置による撤去などの計画はありませんか。

●事：予定はないです。エスカレーターの利用者も多く、撤去は見送られました。

### 【指摘・検討事項について】

- ・総合評価落札方式について、評価項目や点数の配分など、金額と点数のバランスを検討して頂けると、より良い競争が出来ると思います。
- ・最低制限価格について、失格者ができるだけ少なくなるような、良い情報の提供方法を研究して頂きたい。
- ・担い手の確保について、業者数が少ない業種もあり、担い手をどう育成していくのかも研究して頂きたい。

その他

次回（令和3年度第1回）の会議は、令和3年6月17日（木）午後1時30分に開催することに決定しました。